



【発行者・所在地】  
 グリーンポスト事務局  
 大阪市中央区宗右衛門  
 町5-25-302  
 ☎06-6212-3100

### ★グリーンポスト第十八回理事会開催！

去る五月二十七日(土)あまの井(大阪市中央区)に於いて、第一八回(社)グリーンポスト理事会を開催しました。

社員総会は理事会閉会後に開催されました。第十八回理事会は、理事十六名中十五出席(委任状含む)議長に酒井副理事長を選出し、各議題について提案審議進行しました。

一、決算報告健全な収支は保たれてはいるものの、拡大傾向にたく、新会員や収入増の対策が課題です。

二、活動報告及び方針については

- ① 会員数及び口数について
- ② 収入(基金及び寄付)について
- ③ 出資金について
- ④ イベントの内容について
- ⑤ 教育支援の変更にについて
- ⑥ その他

三、役員改選について

四、その他 など

詳細はホームページ掲載。(グリーンポスト検索)

役員の改選については理事の定数を十五から十六名とすることとしました。

また、昨年十一月に逝去された故橋本聖専務理事に対し名誉顧問とすることを決定しました。

ボランティア活動参加ありがとうございました。今後もチャリティコンペや他団体との協賛企画行事など、あらゆる機会を捉えて、ボランティア活動に取り組んでいきたいと考えています。今後もグリーンポスト活動のご理解と各行事への参加をよろしく願います。

#### (社)グリーンポスト役員

- |         |       |
|---------|-------|
| 会 長     | 高橋 秀直 |
| 理 事 長   | 酒井 信夫 |
| 副 理 事 長 | 中野 隆司 |
| 専 務 理 事 | 松村 文春 |
| 常 務 理 事 | 城戸 勝彦 |
| 理 事     | 酒井 弘  |
| 理 事     | 上田 順三 |
| 理 事     | 森山 道朗 |
| 理 事     | 坂根 元彦 |
| 理 事     | 中村 英次 |
| 理 事     | 上田 孝  |
| 理 事     | 喜真 正博 |
| 理 事     | 田川 兆伸 |
| 理 事     | 松本 昇浩 |
| 理 事     | 北口 好男 |
| 理 事     | 佐野 匡伸 |
| 監 事     | 今井 知子 |
| 監 事     | 尾崎 正一 |
| 顧 問     | 相馬 達雄 |
| 名 誉 顧 問 | 故橋本 聖 |

#### ○理事定数の変更

現行の理事・監事「十五名」から改正案の理事「十五名」十六名」へと明記し変更。

○理事等の役職分担明記  
 具体的な役職を担う理事・主査等について、担当を明記する。

(総括・総務・広報・企画・営業)

#### ○役職担当の決定

- ・ 統括担当：松村専務理事
- ・ 総務担当：城戸常務理事
- ・ 広報担当：松村理事
- ・ 企画担当：喜真理事
- ・ 営業担当：酒井弘理事

#### ◆酒井理事長就任あいさつ

「グリーンポストを設立して8年が経過しました。初代理事長の相馬達雄さんから、2代目理事長の高橋秀直さんと初期の目標でありましたカンボジアに学校建設を、多くの皆さんにご支援を賜わり、(社)シャンティ国際ボランティア会のお力添えをいただき、カンボジア王国バタンバン州に学校建設を実現いたしました。

今期は、新たな目標として、ラオスに移動図書館を寄贈することをスタートしましたが、資金難のため援助が難しく、中止と今期の総会で決定いたしました。

去る5月の第18回理事会において、3代目の理事長に就任をいたしました。

小さな夢が大きな成果となり、次の目標であったラオスへの移動図書館はあきらめましたが、グリーンポストの初期の小さな夢であります教育支援と奨学金支援をスタートすることに決まりました。

スタートは、タイの子供たち(難民)を中心に、教育ボランティア活動を進めていきます。

新任の松村専務理事と城戸常務理事を中心に、多くの方々にご支援をいただけますよう、心からお願い申し上げます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。」

理事長 酒井信夫

## ◇タイ・バンコク研修2017

6月21日（水）午後10時に関空に7名が集合し、2日午前0時55分CAT727便は出航。

今回はバンコクのシーカー・アジア財団の吉田さんと教育支援を行う「マレットファン」（夢のたね）の松尾さんから活動内容についてお話を伺い、グリーンポストの教育支援について研修を深めていく企画です。

6月23日朝、滞在している

ナライホテルからバンコク市内

で10万人が住むクロントイ・

スラムで活動をしているシーカ

ー・アジア財団の事務所を訪問

する。

国際部の吉田圭助さんと

クックさん、図書館コーディネ

ーターのペンさんが出迎えてくれました。

事務所では日本から団員一同で持ち寄ったクレヨンで

酒井理事長から贈呈しました。

吉田さんから「ありがとっございませう。多くの子ども

達にクレヨンで絵を描いてもらうことができます。日本

から届けていただいたグリーンポストの皆さまに感謝

申し上げます。」との挨拶がありました。

この後、シーカー・アジア財団の活動をスライドで説明を受けました。

シーカー・アジア財団の取り組み事業として、図書館・移動図書館・奨学金・学生寮・保育園・緊急救援・ホステル・クラフト（少数民族の伝統的な生地を使用したものづくり）があります。



説明を受けるなかで、奨学金事業と図書館活動・移動図書館活動、クラフト活動が印象に残りました。



スラム発のブランド「FEEMUE KLONG TOEY」（フィームークロントイ）は、事務所の2階に縫製所がありペンケースから幼稚園の制服の縫製まで行っています。

奨学金事業については、2016年度、一般奨学生（小中学生）432人、シャンティ学生寮・寮生28人、大学生26名合計486人に奨学金を授与しています。

### 『先生になりたい！』

※大学生への奨学金は、「ニコン・シャンティ」奨学金制度により支給されています。ニコンは、これまで10年間に毎年中高生150人、大学生25人の奨学金を支援しています。2017年度の新規奨学生枠は128名。これに対し奨学金申請状況は、バンコク20名、ターク県207名、バヤオ87名、合計314名が申請しており、倍率は2.5倍となっています。

また、円安の影響を受け、奨学金事業収支差額がマイナスとなり、シーカー・アジア財団奨学金基金を取り崩して補填しています。奨学金は年間1口24,000円となっています。

移動図書館については、基幹労連が贈呈しており、新しい移動図書館がシーカー財団事務所前に駐車していました。前に使っていた移動図書館はミャンマーで使用する準備を進めています。

説明を受けた後に事務所の周辺をシーカー財団のスタッフに案内してもらいました。

クロントイ・スラムは、港湾施設に近い湿地帯に住居を建てて住み始めたとのことで、少し前までは床下からメタンガスが発生することもあったとのこと。

床下は今でも湿地帯にあることが理解できます。

驚いたのは家と家の間に線路があることで、1日数回港湾と駅を結ぶ貨物列車が通るとか。



近隣のプラティープ財団で幼稚園見学させていただき、昼寝中の年少さんや劇の練習中の園児たちや施設を見学して回りました。



訪タイ研修メンバー

《文春》

◇タイの教育支援NGO紹介

『マレットファン』タイ国認定(教育支援)

マレットファン(夢のたね)は、シヤンティ国際ボランティア会タイ事務所で、移動図書館でのミヤンマーとのターク県に設置された難民キャンプ周辺での図書サービスと保育関係者研修事業を担当していた松尾久美、ギップ、ムアイの3名がシヤンティ国際ボランティア会の海外事務所運営現地化の流れの中で理事会より事業チーム解散となったため、シヤンティ国際ボランティア会から離れて、2013年1月より「マレットファン」として活動を続けています。

2014年10月には公益財団法人としての認可。本年10月には来日し15日は奈良市で21日は大阪市立図書館、22日は東近江能登川図書館で講演とワークショップが予定されています。

活動は、①研修会プロジェクト②絵本のひろばプロジェクト③日タイ交流プロジェクトで行われています。

研修会プロジェクトは、2015年に44回の研修が実施され、2,033人の参加がありました。



日本人専門家による研修が13回、マレットファンスタッフによる研修が21回、子どもに対するワークショップが10回となっています。

絵本のひろばプロジェクトでは、2015年4月にバンコク都営図書館において大規模な初えほん展が実現し、この絵本展以降、研修事業の依頼も増え、12月にタイ北部のチェンライ県におけるえほん展につながりました。

日タイ交流プロジェクトは、2015年10月に大阪の教育・福祉の現場から見て触れて学ぶスタディツアーを実施し、タイの子ども関係者13名が参加しました。

2015年は、日本及び他国から7団体(52人)がマレットファンの事業の視察やボランティアに参加してま参加しています。

(この項は、マレットファンのブログを参照しています)

マレットファンを直接支援する方法として個人会員を募集しています。個人会員(年間)2000円

◎ゆうちょ銀行(振替口座)口座名:マレットファン日本  
記号番号:022000191112639

◎「マレットファン夢のたね まき」が出版されています。

村中李衣著  
新日本出版社  
1400円(税別)



今回のバンコク滞在時にマレットファンの松尾久美さんと懇談をもつことができ、様々な活動を続けられている3人の話を聞かせていただきました。

日本での活動に協力をしていきますので、皆さまの支援をよろしくお願いいたします。

【チャリティー募金】

夏のお疲れ様会 2,578円  
下呂温泉旅行会 3,995円

尾崎さんを囲む会 2,075円

チャリティーコンペ(第3・4回) 5,210円

萩・長門の旅 1,987円

【グリーンポストチャリティーコンペ開催】

第3回コンペ(27.5.30)

第4回コンペ(27.11.21)

【基金回収状況】

27年度 34,042円

28年度 8月末現在 53,305円

【グリーンポスト関連行事】

3月25日(土) 橋本聖さんお別れ会

5月27日(土) 第18回グリーンポスト理事会

5月27日(土) 第7回グリーンポスト社員総会

6月17日(土) 「Friend of 聖」

6月22日(木) 27日(火) タイ・バンコク研修

第3回有志「白の旅」

十月十七日〜十八日で一泊旅行

今回は、松山です。ご興味ある方はお問い合わせください。

◇2017 高橋前理事長 イタリア旅行記

理事長就任中は皆さま方のご協力で大きな問題も起こさず、無事務めさせていただいたことに御礼を申し上げます。

旅行好きの私達夫婦は今年6月9日〜22日まで、久しぶりに世界遺産が一番多いイタリアに行きました。

ローマは4度目なので、往復の航空券とホテルをから現地での日程まで自分で計画し、ツアー旅行ではゆっくり見られない所や組み込まれない様な場所へ行くことしました。

ホテルは10時出発。遠方には7時出発もありましたが、地下鉄、列車、バスと乗り継ぎ行動しましたが、大変でした。スマホにグーグルの翻訳機能、マップを入力して在るのですがWiFiがフリーで利用出来るのが空港ぐらいで、滞在地ではホテル、三越百貨店、スーパーイタリア、パスワードを入力すれば使用可能でした。ローマ市のWiFiステーション、店舗でも利用可能なWiFiは入力使用可能で、登録出来るのですが、イタリア語の登録でフロントに依頼したが駄目だった。意思を伝えるのが大変な毎日が続きました。イタリア人は英語が自由に喋れるのは10%強らしいです。親切丁寧に教えてくれる人は少なく、時間にルーズで個性をアピールしすぎるタトゥを入れた者が目立ちます。バス、市電は乗車するとチケットに刻印を印刷しなければならぬのですが、殆どどの市民はチケットは買ってない様子でそのまま乗降します。運転手も注意しません。たまに検札が有り5ユーロ罰金らしいのです。

私達はローマフリーチケットなので刻印を省きました。ただ、市内交通機関のストに会いましたが、駅等での掲示も無く昼間限定で困るのは観光客で、タクシートの取り合いで、市内からホテルまでタクシード利用。フリーチケットは1日延長出来るのか尋ねたが日本と違い駄目だった。ローマの玄関口のメトロの駅は何度となく利用しましたが、老夫婦の日本人旅行者と見るとスリが寄ってきます。地元の乗客が注意するよう合図を送って慌てて次の駅で飛び降りていました。遺跡、景色は大変素晴らしいです。ホテルのバルコニーにカモメが毎日姿を見せません。毎日晴天で30〜33度と熱い日が続く、昼間外を歩くには大変でした。

市内の移動は市バス、地下鉄、近郊鉄道なので、あまり日本人に会えません。ホテルも1泊しましたが、日本人には合わず、昨年出来たホテルなのにWifiも受信出来ず、情報はパソコンのヤフーニュースのみでした。食事でもホテル近くのイタリア料理と中華料理が主で、量も少なくするように頼むのですが、多くてワインもチーズも好きなのですが、日本料理、中華の方が口に合いました。12時間の空路も歳を感じました。でも思う存分ローマ圏を楽しみました。

下記の写真はローマから3時間程のチビタ村【天空の城】、古代ローマから続く村は今も風化を続け、いつかは消え去る運命にあるため

【死に行く町】とも呼ばれています。



【編集後記】  
今回も発行が遅れてしまった。計画的に事を運ぼうとする自分と怠け癖の自分が戦っている。夏、クーラーのない部屋でパソコンに向かっていると後者が勝ってしまう。読者の皆さまお許しを。

しかしながら、何とか発行にこぎつけました。しかも久々に紙面が活字でにぎわっています。海外記事が多くなり、参考になることもあるかもしれませぬ。

今後、皆さまの記事も掲載したいと思えます。(郵便で事務所に送っていただければ嬉しいのですが) さて、グリーンポストのボランティア活動も第二幕の始まり。達成に向け動き始めました。貴重な寄付金を最大限役立てていくために役員・幹事が様々協議を重ねて進めております。

ホームページや機関紙などお伝えしてまいりますので、今後ご理解ご協力よろしくお願ひします。(成)

今号で紹介した「マレットファン」が、日本での講演会を十月十五日の奈良からスタートします。十月二十一日(土)の大阪市立中央図書館のチラシも同封していますので、時間のある方は是非とも参加して頂きたいと思っています。

事務所のレイアウトを変更しました。会員の皆さまもお立ち寄りやすくなりました。…かも?

なお、皆さまからの活動などについてのご提案やご意見などもお待ちしております。

季節の変わり目を感じる今日この頃ですが、体調の維持管理に注意して秋を楽しみたいですね。(文)